

第\_\_回演習課題：論理演算(CiNii) 提出年月日\_\_\_\_\_

限 学籍番号\_\_\_\_\_ 氏名\_\_\_\_\_

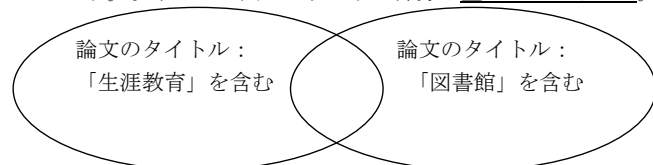
検索実行年月日\_\_\_\_\_

この演習のねらい：実際に論理演算を使った検索を体験し、論理演算を使うことに慣れる。論理演算の用語（論理積、論理和、論理差）がわかるようになる。ベン図が描けるようになる。

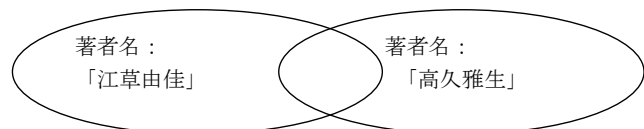
CiNii Articles（以下、CiNii と呼ぶ） <http://ci.nii.ac.jp/> のサイトを Internet Explorer で開き、以下演習を行いなさい。CiNii は「学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなどの学術論文情報を検索できます」。

論理積(AND)の場合は「空白」でキーワードを区切る（例：「英語 多読」）、論理和(OR)の場合は「OR」を使う（例：「PISA2012 OR 数学的リテラシー」）、論理差(NOT)の場合は「NOT」を使う（例：「PISA2012 NOT 数学」）。「詳細検索」のリンクをクリックすると、「タイトル」「著者名」などを指定した検索が行える。詳細については、画面下部のヘルプを参照すること。

1. 「詳細検索」をクリックし、「タイトル」のクエリボックスに「生涯教育 図書館」を入力して「検索」をクリックしなさい。ヒットした件数は( )件である。結果をみても「生涯教育」は含まれているが「図書館」は含まれていないレコードや、「図書館」は含まれているが「生涯教育」が含まれていないレコードはヒットせず、必ず「生涯教育」と「図書館」の両方がタイトルに含まれたレコードのみがヒットしている。このような検索を論理( )を使った検索といいます。以下のベン図のヒットする部分を塗りつぶしなさい。

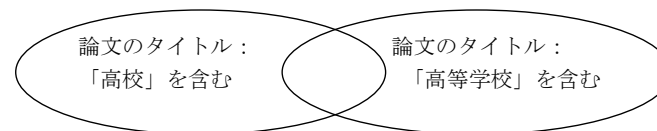


2. 著者名のクエリボックスに「江草由佳 NOT 高久雅生」を入力して検索する。ヒット件数は( )件である。このような検索は論理( )を使った検索という。以下のベン図のヒットする部分を塗りつぶしなさい。



3. 著者名のクエリボックスに「高久雅生 NOT 江草由佳」を入力して検索する。ヒット件数は( )件である。
4. なぜ、「江草由佳 NOT 高久雅生」と「高久雅生 NOT 江草由佳」の検索結果が異なるのか、理由を説明しなさい。

5. 「詳細検索」をクリックし、「タイトル」のクエリボックスに「高校」を入力して「検索」をクリックしてみなさい。ヒットした件数は( )件である。
6. 「タイトル」のクエリボックスに「高等学校」を入力して「検索」をクリックしてみなさい。ヒットした件数は( )件である。
7. 「タイトル」のクエリボックスに「高校 OR 高等学校」を入力して「検索」をクリックしてみなさい。ヒットした件数は( )件である。このような検索をした場合、タイトルに「高校」と「高等学校」の両方が含まれている論文も、タイトルに「高校」だけが含まれている論文も、タイトルに「高等学校」だけが含まれている論文もヒットする。このような検索のことを論理( )を使った検索といい同義語を検索したい場合などに適する。以下のベン図のヒットする部分を塗りつぶしなさい。



8. なぜ、5のヒット件数+6のヒット件数=7のヒット件数にならないか説明しなさい。